

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和6年10月10日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	マストアークス株式会社
所在地	〒498-0054 愛知県弥富市三稲 1-50-1
代表者役職・氏名	代表取締役 松下 誠
担当者連絡先	電話：0567-68-5477
	メール：matsushita@mustarcs.co.jp
ウェブサイトURL	https://mustarcs.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は平成2年に創業した物流企業であり、主に名古屋港を拠点として海上コンテナ輸送を行っております。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	グリーン経営認証を取得した上で社内エコドライブ活動として毎月燃費を公表し、省エネ診断及びその結果を踏まえた表彰制度を策定し、推進するとともに燃費の向上に努め温室効果ガス排出量の削減を図っている。	年間燃費 現状 2.86km/L 目標 2.92km/L
□環境 ✓社会 □経済	積極的に女性従業員の採用を図る。	従業員の比率 現状：女性 9 男性 29 目標：女性 15 男性 30
□環境 □社会 ✓経済	業務支援ソフトや IT 点呼を活用し、合理性及び生産性向上を図り、時間外労働の短縮を図る。	月平均労働時間 現状：60 時間 目標：50 時間

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築、またその運用に経営陣が積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記し、運行管理者を相談窓口とし、併せて社外相談窓口も設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	業務支援ソフト及びIT点呼を活用し、合理化、生産性向上により時間外労働時間を短縮する。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	働きやすい職場環境認証二つ星取得及びGマークの認定を取得し、安全教育の徹底、事故防止研修会の開催、定期的な運転適性診断を受診している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ひとり1時間、産業カウンセラーとの面談を定期的実施している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性従業員を積極的に採用し、女性従業員の割合を増やしていく。「あいち女性輝きカンパニー」認証済。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	愛知県トラック協会や中部交通共済が主催するセミナーや講習会に積極的に従業員を参加させている。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	育児を必要とする、時間に制約のある社員に対しても同一の賃金体制で対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	血圧計の設置、健康診断結果に基づく産業医による個別指導制度、点呼時の体調確認に努め、健康管理の取組みを推進している。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	オフィスで使用する消耗品(コピー用紙や文具)はリサイクル品を、またトラックの交換部品はリビルト品を積極的に購入している。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	グリーン経営認証を取得した上で社内エコドライブ活動として毎月燃費を公表し、省エネ診断及びその結果を踏まえた表彰制度を策定し、推進するとともに燃費の向上に努め温室効果ガス排出量の削減を図っている。								7.2 7.3			12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9		6.3						11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している					6.6											15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる					6.4 6.6													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	グリーン経営認証を取得している。			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	使用する車両器具においては確実な定期点検整備を実施し、不具合が発生した場合は確立した報告体制で早急に対応が可能である。			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	毎月eラーニングを教材に用い、安全運転教育を従業員に実施。日々スキルアップし高品質な輸送サービスを提供している。										9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	環境性能の高い車両への代替、社内エコドライブの実施及び燃費公表、またトラック協会の省エネ運転大会への参画により、燃費の向上を図り、環境への配慮を行っている。						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	低騒音・高燃費の新型車両への代替により、地域住民への配慮を行っている。				4						9	11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	トラック協会海上コンテナ部会のクリーンキャンペーンに定期的に参加し、名古屋港の港湾道路周辺における清掃活動に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	経営者が理念を持ち、目標を掲げ、社員に説明し、共有化している。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	ホームページや会議等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。															16		
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																16		
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)															16	17		
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																16		
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																16		
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	PCB計画により、災害及び緊急時の連絡体制や事業継続に向けた方策を策定している。									9		11		13.1		16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	【予定】2025年4月に後継有力者が入社。約10年を目標に確実な承継を図る。								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。